

CDX-500

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書・保証書



ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハ・コンパクトディスクプレーヤーCDX-500をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。CDX-500の優れた性能を十分に発揮させると共に、長年支障なくご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

特長

本機はCD(コンパクトディスク)の持つ優れた音質を充分にお楽しみ頂けるよう、最新の技術を結集して開発されました。周波数特性5Hz~20,000Hz、ダイナミックレンジ96dB以上、高調波歪率0.004%(1kHz)、S/N比100dB以上(EIAJ)、ワウ・フラッター測定限界以下という優れた特性に裏付けされた精緻な音質を実現しました。

目次

特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
ご使用前に	3
接続のしかた	4
コンパクトディスクの取り扱い	5
リモコンを使う前に	6
各部の名称とはたらき	7
基本的な演奏	10
好きなところから演奏	
●ダイレクト選曲	12
●インデックスサーチ	13
演奏中に好きなところをサーチ	
●スキップ選曲	14
●マニュアルサーチ	14
聴きたい曲をお好みの順番で演奏	
●プログラム演奏	15
くり返し演奏	
●一曲リピート	17
●全曲リピート	17
●プログラムリピート	17
タイマー演奏	18
ヘッドホンについて	18
故障かなと思ったら	19
参考仕様	20
ヤマハホットラインサービスネットワーク	21

●先進のテクノロジーを満載

ヤマハの新開発CD専用LSIにより、高度な信号処理を極めてコンパクトな形で実現しました。デジタルフィルターなどのデジタル回路の大半をLSI化したため、小型化が可能となり、高い信頼性を確保しました。

●マイコン搭載による多彩な演奏

マイクロコンピュータを搭載することにより、プログラム演奏、リピート演奏(全曲、一曲、プログラム)、インデックスサーチなどCDに収められている情報を最大限に生かした多彩な演奏が簡単操作でお楽しみいただけます。

●演奏状態を常に確認できるマルチディスプレイ

演奏中の曲番、プログラム番号、演奏経過時間、残量時間などを分秒単位でデジタル表示。またプログラム演奏、リピート演奏などの各演奏モードも常にインジケーターが表示していますので確認が容易です。

●リスニングルームで威力を発揮するリモコンを標準装備

付属のリモコンRS-CD5を使用すれば離れたところから基本操作のほとんどと、10キーを使用したスピーディーな選曲をすることができます。

豊かなオーディオライフのために

高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)・湿度の多い場所(湿度90%以上)は、さけてください。



結露現象について

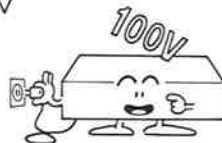
本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に露が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れる前に1~2時間程度放置するか徐々に室温を上げてからご使用ください。

ほこり・水気をさけて！



国内のみ使用できます

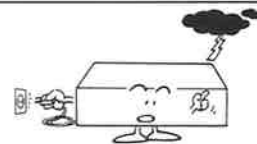
家庭用電源コンセント
AC100V



不安定な場所をさけて！



雷が近づいたら

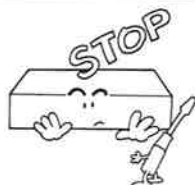


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

薬物厳禁



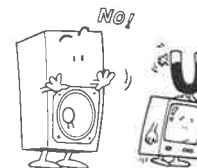
開けないで！



コードを引っばらないで！



磁気・テレビはさけて！



こわれた？



19ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



取扱説明書はかならず保管してください。



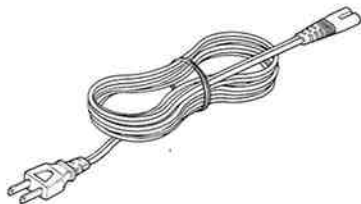
ファイルなど

ご使用前に

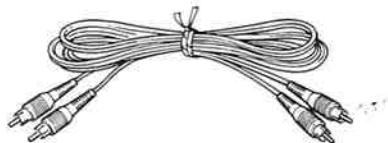
付属品の確認をしてください

付属品は4点あります。

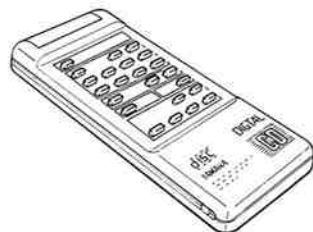
• 電源コード



• 出力コード



• リモコン送信機(RS-CD5)



• 乾電池
単3(SUM-3)×2本



結露現象について

- 本機を寒い部屋から、急に暖かい部屋に移したりしますとピックアップ部に結露を生じ、正常に動作しないときがあります。そのようなときは電源をいれたまま1～2時間待ってから操作してください。



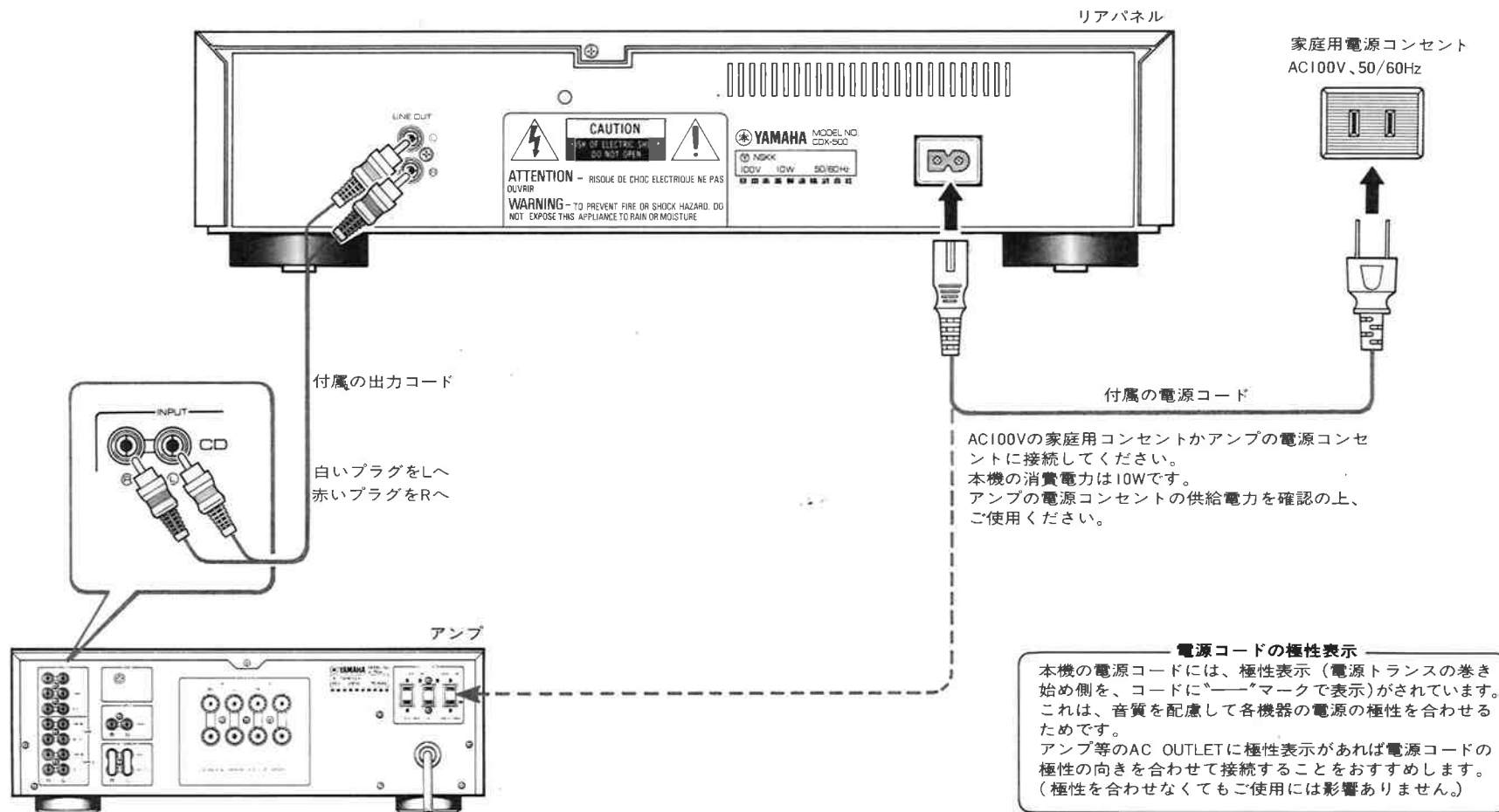
設置について

- 本機を設置する際は、振動のない水平な場所を選んでください。
また、アンプなど、熱を発生する機器の上には設置しないようにしてください。
他のオーディオ機器と一緒にラックに入れる場合には、アンプなどから出る熱の影響を避けるため、アンプよりも下の棚（ホコリをかぶる心配のないできるだけ下の棚）に入れ、風通しをよくしてご使用ください。
- 本機がチューナーなどの他の機器に妨害を与えるようなときは、それらの機器と本機の距離を少し離してください。

接続のしかた

接続の際のご注意

- 電源スイッチ……本機および各機器の電源を切ってから接続してください。
- 出力コード……左チャンネル(L)、右チャンネル(R)を確認して、正しく確実に接続してください。
- 電源コード……接続に誤りがないことを確認してから、リアパネルの電源端子にしっかりと差し込んで、コンセントに接続します。

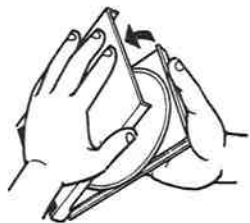


コンパクトディスクの取り扱い

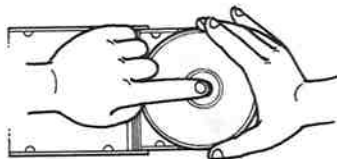
本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。  マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

ケースからの取り出し方

1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ちあげます。

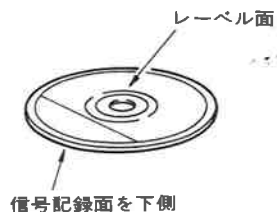


3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。

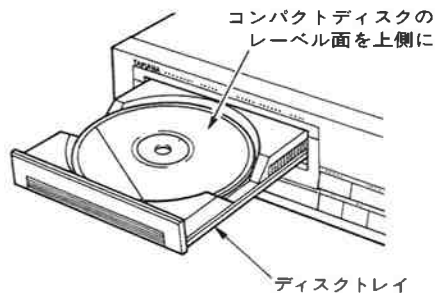


ディスクのセット

コンパクトディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの演奏は片面だけです)



※市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。



取り扱いの注意

- 信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音質にはまったく影響ありません。



- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



- 曲げたりしないでください。



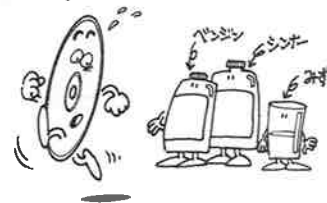
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



- 演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また水に濡れた布で拭くことも避けてください。



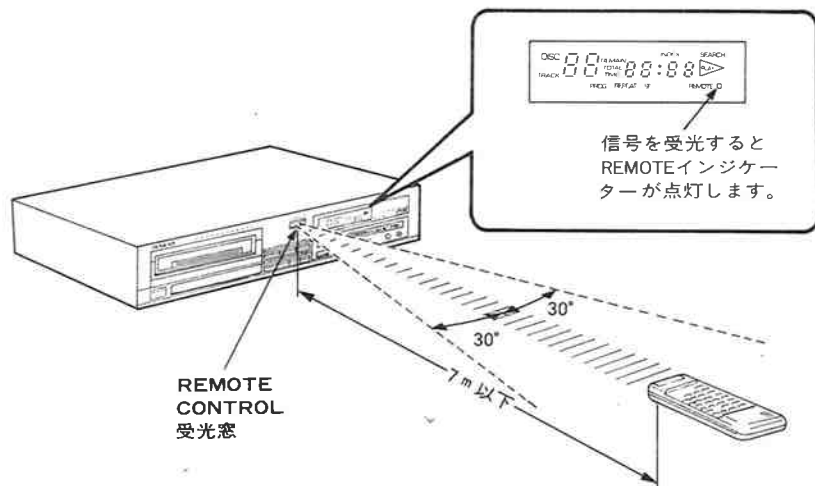
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを高温な場所に長時間放置すると変形などの原因となります。



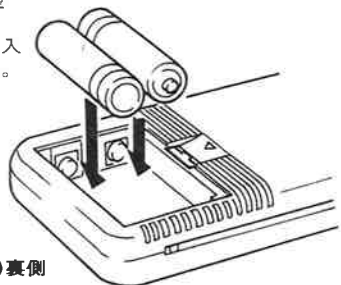
リモコンを使う前に

付属のリモコン(RS-CD5)をご使用になりますと、基本操作のほとんどを離れた場所から行なうことができます。

操作の前に、付属の乾電池をリモコンに正しくセットしてください。また信号光は直進性の高い赤外線を使っていますので、リモコンとCDX-500本体の受光窓との角度にご注意ください。



②SUM-3(単3)型
乾電池 2個
⊕⊖を正しく入
れてください。



リモコン(RS-CD5)裏側

電池の交換時期

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2個とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

乾電池も使いかたを誤ると、液もれや破裂などの危険があります。

次の点については、特にご注意ください。

電池の交換のときは

- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。

充電について

- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

リモコンをお使いになる上で

- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 消耗してきた電池は、早めに交換してください。

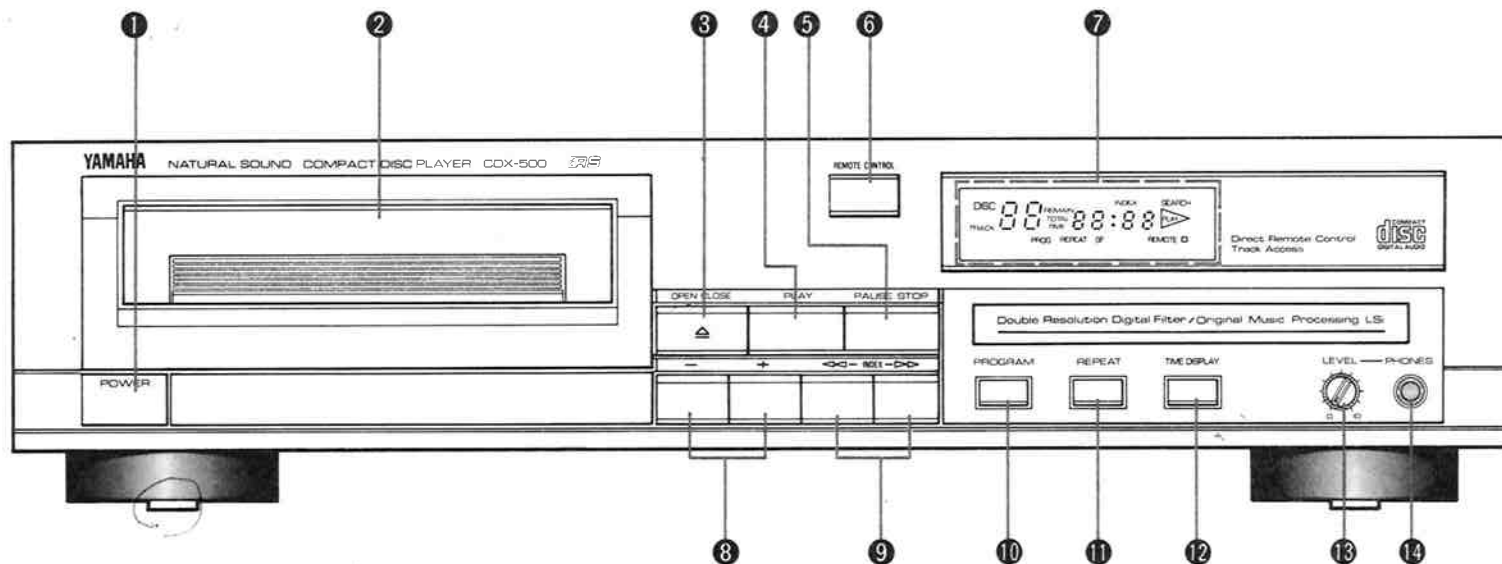
万一の事故を防ぐために

- 分解や加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。
- また、捨てるときは、指定の場所に捨ててください。
- ⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。

液もれがおこったときは

電池ケースについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

各部の名称とはたらき



①POWERスイッチ

電源スイッチです。電源が入ると、各部のインジケータが点灯します。
電源ONでディスクが入っていれば自動的に演奏がスタートします。

②ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。^{オープン}OPEN/^{クローズ}CLOSEキー③を押すと開き、もう一度押すと閉まります。ディスクトレイは軽く手で押しても、^{プレイ}PLAYキー④を押しても閉まります。

※電源が入っていないと、ディスクトレイの開閉はできません。

※ディスクトレイを直接押したり、PLAYキーを押して閉めたときは、演奏が自動的にスタートします。

③OPEN/CLOSEキー

ディスクトレイ②を開閉させるキーです。

④PLAYキー

演奏をスタートさせるキーです。ディスクトレイ②が開いているときにこのキーを押せばディスクトレイが閉まり、演奏がスタートします。

⑤PAUSE/STOPキー

演奏をポーズ、またはストップさせるキーです。

ポーズ(1回押し)：演奏しているところで一時停止。

ストップ(2回押し)：演奏を停止し、1曲目の頭で待機。

⑥REMOTE CONTROL 受光窓

リモコンからの信号(赤外線)を受光する窓です。受光すると、マルチディスプレイ内のREMOTEインジケータが点灯します。

7 マルチディスプレイ

トラックインジケータ

演奏中の曲番を表示するインジケータです。

※OPEN/CLOSEキー⑧によってディスクトレイをしめたときには、ディスクの総曲数が約3秒間表示されます。

DISCインジケータ

ディスクがセットされているかどうかを表示するインジケータです。ディスクが正しくセットされていると点灯します。

PROGインジケータ

プログラムがセットされていることを表示するインジケータです。プログラムをセットしている間は点滅し、セットが完了すると点灯します。

REPEATインジケータ

くり返し演奏の種類を表示するインジケータです。

REPEAT S : 1曲リピート

REPEAT F : 全曲リピート

タイムインジケータ

タイム ディスプレイ

TIME DISPLAYキー⑩の操作によって、次の3種類の時間を表示するインジケータです。

TIME : 演奏している曲の経過時間

TOTAL TIME : ディスクの総演奏時間

REMAIN TIME : 残量時間

また、インデックスサーチ時はインデックスナンバーを、プログラムセット時はプログラムナンバーを表示します。

※OPEN/CLOSEキー⑧によってディスクトレイをしめたときには、ディスクの総演奏時間が約3秒間表示されます。

INDEXインジケータ

タイムインジケータがインデックス表示のときに点灯するインジケータです。

SEARCHインジケータ

選曲中に点灯するインジケータです。

PLAYインジケータ

演奏中に点灯するインジケータです。またポーズ中は点滅します。

REMOTEインジケータ

リモコンからの信号を受光すると点灯するインジケータです。



⑧ + / - キー

お好みの曲を探したり、プログラムナンバーを指定するキーです。

	演奏時	ポーズ時(一時停止)	プログラムセット時
+	次の曲の頭から演奏	次の曲の頭でポーズ	プログラムナンバーが増える
-	その曲の頭から演奏	その曲の頭でポーズ	プログラムナンバーが減る

キーを押し続けると連続的に変化します。

⑨ ^{早戻し}◀ / ^{早送り}▶ キー

聴きたいところを探したり、インデックスナンバーを指定するキーです。

	演奏時	ポーズ時(一時停止)	ストップ時
◀	早戻し(音出しサーチ)	早戻し(音無し)	インデックスナンバーが減る
▶	早送り(音出しサーチ)	早送り(音無し)	インデックスナンバーが増える

早戻し/早送り操作で、キーを約3秒以上押し続けると、自動的にサーチ速度が速くなります。

⑩ ^{プログラム}PROGRAMキー

聴きたい曲をお好みの順番で演奏(プログラム演奏)するときに、そのセットや確認を行なうキーです。(☞15、16ページ)

⑪ ^{リピート}REPEATキー

くり返し演奏するときに、そのセットや解除を行なうキーです。(☞17ページ)

⑫ ^{タイムディスプレイ}TIME DISPLAYキー

マルチディスプレイ⑦の表示内容を切り換えるキーです。

キーを押すごとに、演奏している曲の経過時間(TIME)、残量時間(REMAIN TIME)、ディスクの総演奏時間(TOTAL TIME)が順番に表示されます。

(☞11ページ)

⑬ ^{ホーンズ}PHONES LEVEL ^{レベル}ツマミ

ヘッドホンの音量を調節するツマミです。

⑭ ^{ホーンズ}PHONESジャック

ヘッドホンを接続するジャックです。アンプの操作をせずに演奏をモニターできます。

リモコン(RS-CD5)

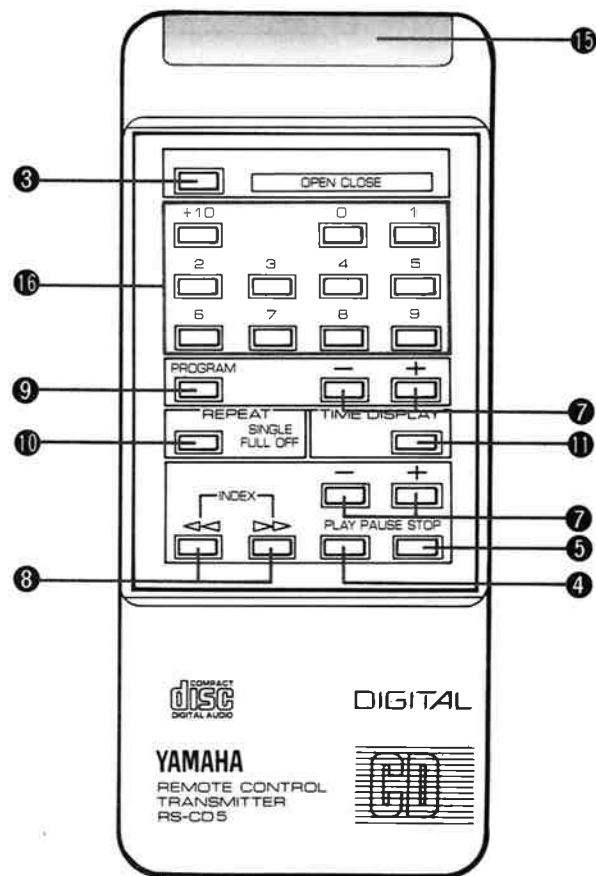
⑮ 送信窓

^{リモート}REMOTE CONTROL ^{コントロール}受光窓⑮へ信号(赤外線)を送る窓です。

⑯ ^{テン}10キー(+10, 0~9)

選曲するときに、曲番(トラックナンバー)を指定する数字キーです。

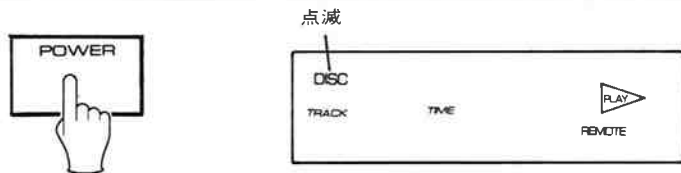
●リモコンの⑮、⑯以外のキーは本体のキーと同様の機能を持っています。



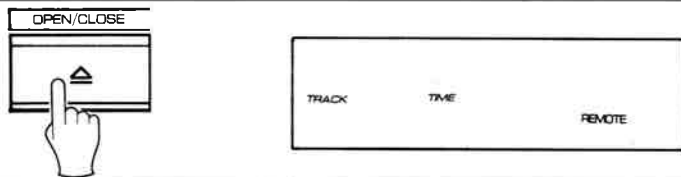
基本的な演奏

リモコンで操作するときは対応するキーをお使いください。

1 電源を入れます (リモコンで電源のON/OFFはできません)



2 ディスクトレイを開けます

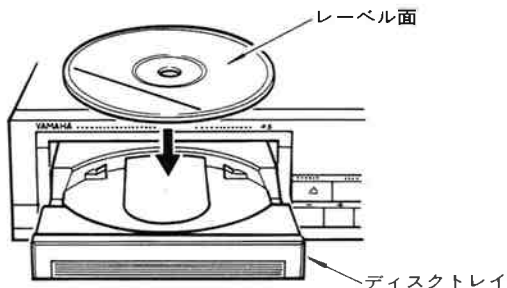


3 ディスクを入れます

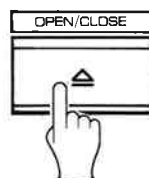
ディスクをケースから取り出しレーベル面を上にしてディスクトレイにのせます。

※レーベル面の反対側が音の記録面です。

(コンパクトディスクの記録面は片面だけです。)



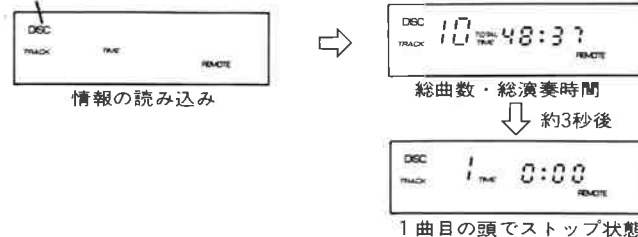
4 ディスクトレイを閉めます



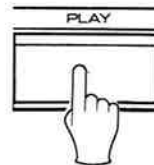
または、PLAYキーを押すか、ディスクトレイを軽く押ししてもディスクトレイを閉めることができますが、この場合は自動的に演奏が始まります。

マルチディスプレイは、ディスクに収められている情報を読み込む数秒間DISCインジケータが点滅し、読み込みが終わると点灯に変わります。その後、総曲数、総演奏時間を約3秒間表示したあと、一曲目の頭でストップ状態の表示に変わります。

例えば、総曲数10曲、総演奏時間48分37秒のディスクの場合
点滅から点灯へ

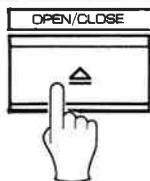


5 演奏を始めます



一曲目から最後の曲まで連続して演奏します。ディスプレイは曲番と曲ごとの演奏経過時間を表示し、最終曲まで演奏すると自動的にストップ状態になります。

ディスクの取り出し



OPEN/CLOSEキーを押せば、いつでもディスクトレイを開けてディスクを取り出すことができます。

ディスクトレイの取り扱い

- ディスクトレイには、不要物などを入れないでください。故障の原因になります。
- 動作中は、ディスクトレイを手で無理に開閉しないでください。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを防ぐためディスクトレイを閉めておいてください。

演奏を一時止めるには……………ポーズ



1回押します

キーを押したところでポーズし、マルチディスプレイのPLAYインジケータが点滅します。演奏を再び始めるときはPLAYキーを押します。

※ポーズ中にもう一度PAUSE/STOPキーを押すとストップ状態になります。

演奏を止めるには……………ストップ

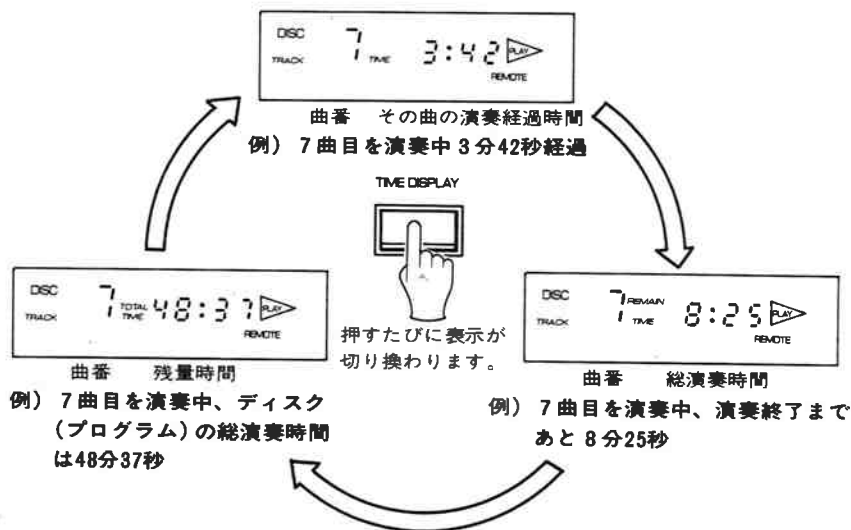


2回押します

マルチディスプレイのPLAYインジケータが消えストップ状態になります。

時間表示切換について

ディスクを演奏中、TIME DISPLAYキーによってマルチディスプレイの表示を切り換えることができます。



ご注意

- ディスクにキズなどがあると演奏開始時間が遅れたり、途中から演奏することがあります。
- 偏芯したり、反ったディスクは演奏中に異音を発することがありますので、ご使用にならないでください。
- 演奏中には本機を動かさないでください。演奏中ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、動かしたりするとディスクに傷が付く恐れがあります。本機を動かすときには演奏をやめ、ディスクを必ず取り出してください。

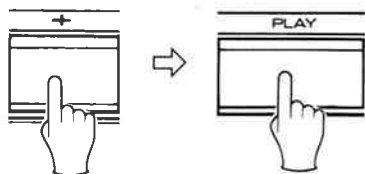
好きなところから演奏

ダイレクト選曲

聴きたい曲をダイレクトに頭出しします。

“+”“−”キーまたはリモコンの10キーを使って、簡単にお好みの曲を選曲することができます。

例えば、5曲目を聴くには

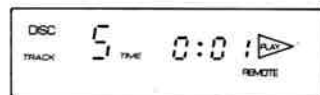


4回押します

または、



リモコンの10キーで選曲を指定した場合は、自動的に演奏が始まります。



5曲目の頭から演奏を始めます

※ディスクトレイが開いている状態でもダイレクト選曲できます。

2桁の曲番を選曲するときに“+10”キーを押して10の位を設定します。

例えば……………25曲目を聴くには、

1 “+10”キーを2回押します。



2 “5”キーを押します。



25曲目の頭から自動的に演奏が始まります。

※“+10”キーを押しすぎたときは、PAUSE/STOPキーを1回押してから設定し直してください。

- “+”キーを押すたびに次の曲の頭に移ります。押し続けると連続的に変化し最終曲番で止まります。
- “−”キーを押すたびに前の曲の頭に戻ります。(演奏中はその曲の頭にまず戻ります。)押し続けると曲番1まで連続的に変化します。

- リモコンの10キーで、ディスクに収録されている曲番より大きな曲番を指定した場合は、自動的に最後の曲の演奏となります。
- 演奏中に、“+”“−”キーで選曲した場合は、自動的に指定された曲を演奏します。
- ポーズ中に選曲した場合は、指定された曲の頭でポーズ状態となります。

インデックスサーチ

リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。

■ インデックス番号とは **IN:DEX**

クラシック音楽等で一曲がいくつもの楽章によって構成されている場合、各楽章に番号が付けられており、インデックス番号と呼ばれています。演奏する前にコンパクトディスクの解説書によってお確かめください。

■ インデックスの頭出し

インデックス番号が設定されているディスクの場合は“◀◁”“▷▷”キーでお好みのインデックスから演奏を始めることができます。

例えば…………… 2曲目のインデックス 3 を聴くには

1 曲目		2 曲目		
インデックス1	インデックス2	インデックス1	インデックス2	インデックス3

ここから演奏をはじめます。

1 ストップ状態にします

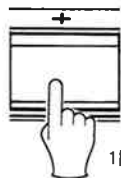


2回押します



※演奏中やポーズ中にインデックスの指定はできません。

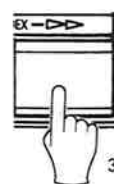
2 曲番を選びます



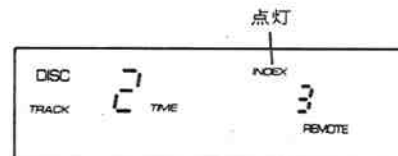
1回押します



3 インデックスナンバーを指定します

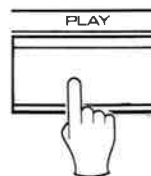


3回押します



4 PLAYキーを押します

2曲目のインデックスナンバー 3 から演奏を始めます。



サーチ中点灯、演奏開始と同時に消灯



- ディスクに記載されているインデックス番号より大きな数を指定した場合、最終インデックス番号より演奏します。
- インデックス指定はPAUSE/STOPキーを押せば解除されます。
- インデックスサーチのときは、曲の少し前から再生することがあります。
- インデックスの頭出しは、PLAYキーを押して演奏を始めますと自動的に、インデックスは解除されインジケータも消えます。
- インデックス番号の記録されていないディスクの場合、選んだ曲の頭から演奏が始まります。
- インデックスの頭出しには、多少時間がかかることがあります。
- ディスクトレイが開いている状態でもインデックスサーチができます。

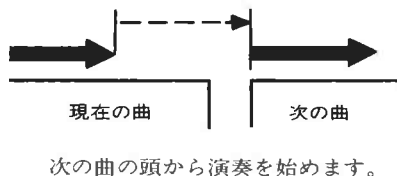
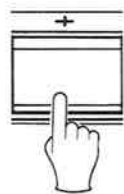
演奏中に好きなところをサーチ

スキップ選曲

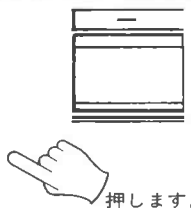
リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。

前後の曲の頭出しが簡単に行なえます。

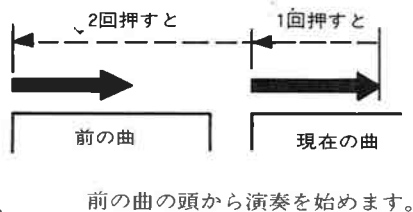
次の曲に進めるには



前の曲に戻すには



(1回押すと現在の曲の頭に戻ります)

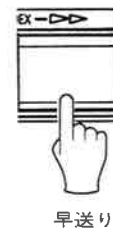
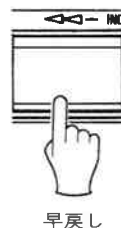


- "+"キーを押すたびに次の曲の頭に移ります。押し続けると連続的に変化し、最終曲番で止まります。
- "-"キーを押すたびに前の曲の頭に戻ります。(演奏中はその曲の頭にまず戻ります。)押し続けると曲番1まで連続的に変化します。

マニュアルサーチ

リモコンで操作するときは対応するキーをお使いください。

演奏中またはポーズ中に"<K">">"キーを使って聴きたいところを探すことができます。



●演奏中のとき(音出し中速サーチ)

"<K"キーまたは">"キーを押し続けると、最初の3秒間は低速で早戻し・早送りして、それ以上押し続けると、中速で早戻し・早送りします。早戻し・早送り中は再生音が小さな音(1/4)で聴こえます。聴きたい位置で指を離すと、そこから演奏を再開します。

●ポーズ中のとき(音ナシ高速サーチ)

"<K"キーまたは">"キーを押し続けると、最初の3秒間は低速で早戻し・早送りして、それ以上押し続けると、高速で早戻し・早送りします。指を離すと、その位置でポーズ状態になります。

●ストップ状態のとき

インデックス指定モードになります。
(⇒13ページ)

聴きたい曲をお好みの順番で演奏


プログラム演奏

リモコンユニットで操作するときは対応するキーをお使いください。

聴きたい曲を好きな順番にならびかえて最大16曲まで演奏することができます。

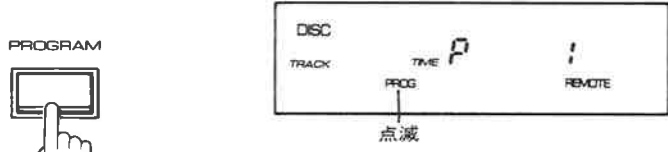
例えば…… 6曲目、2曲目の順番でプログラムするとき

1 ストップ状態にします



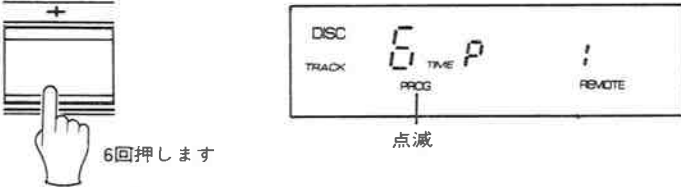
2回押します

2 PROGRAMキーを押します



P 1(プログラム1)にプログラムのセットが可能であることを示します。

3 曲番(6曲目)を選びます




6回押します

点減

※リモコンの10キーで曲番を指定することはできません。
リモコンの10キーはダイレクト選曲のみに使用します。

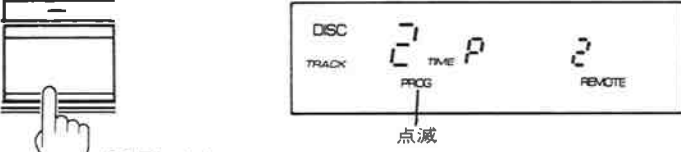
4 PROGRAMキーを押します



点減

P 1(プログラム1)に6曲目のセットが完了しP 2(プログラム2)にプログラムのセットが可能であることを示します。

5 曲番(2曲目)を選びます



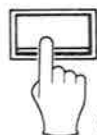
4回押します

点減

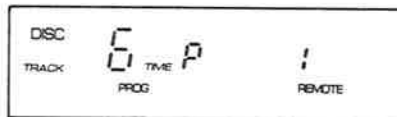
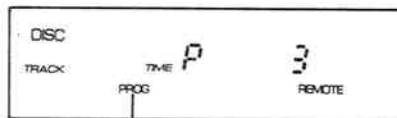
前の曲番からの"+","-"指定となります。

6 プログラムのセットを終了します

PROGRAM



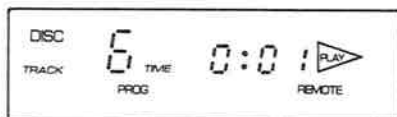
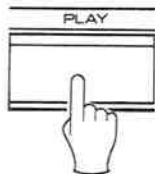
2回押します



これで6曲目と2曲目のプログラムは完了です。
同様にプログラムは「P 15」までセットすることができます。

7 PLAYキーを押します

プログラムした順番に演奏が始まります。



●TIME DISPLAYキーを押すと…………。

TOTAL TIME 表示のとき：プログラムの総演奏時間を表示します。

REMAIN TIME表示のとき：プログラムの残量時間を表示します。

TIME表示のとき：その曲の経過時間を表示します。

●ストップ状態でPROGRAMキーを押せばP 1(プログラム1)から順にプログラムされた曲番が表示されますので、プログラムの内容をチェックすることができます。

プログラムの変更と取り消し

プログラムの変更

- 1.ストップ状態でPROGRAMキーを押し、変更したいプログラム番号をマルチディスプレイに表示させます。
- 2.「+」キーまたは「-」キーで新しい曲番を選び PROGRAMキーでセットし直します。
前のプログラムは消え、新しいプログラムに変わります。

プログラムの取り消し

次の操作を行なうとプログラムは全て取り消されます。

- ディスクトレイを開けたとき。
- 電源を切ったとき。

ご注意

- インデックスのプログラム演奏はできません。
- プログラム総演奏時間が99分59秒を越えたときのTOTAL TIME表示とREMAIN TIME表示は、100分を差し引いた残り時間を表示します。
- プログラム演奏で曲番が20以上の曲をプログラムしたときはREMAIN TIME、TOTAL TIMEは表示されません。

くり返し演奏

リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。

ディスクの全曲または聴きたいところだけをくり返し演奏することができます。

一曲リピート(REPEAT S)：お気に入りの1曲をくり返し演奏します。

全曲リピート(REPEAT F)：ディスクの全曲をくり返し演奏します。

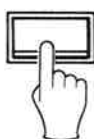
プログラムリピート：プログラムした曲をくり返し演奏します。

一曲リピート：REPEAT S

現在聴いている曲をくり返し演奏する機能です。

S (シングル：一曲)

REPEAT



マルチディスプレイの
`S`が点灯するまで押します



例) 1曲目をくり返し演奏します。

全曲リピート：REPEAT F

ディスクの全曲をくり返し演奏する機能です。

F (フル：全曲)

REPEAT



マルチディスプレイの
`F`が点灯するまで押します



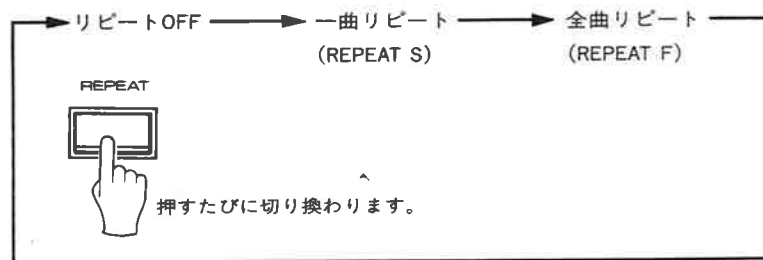
ディスクの最後の曲を演奏し終わると
最初の曲へ戻り演奏を始めます。

プログラムリピート

プログラムしておけばプログラムの全曲リピートもできます。(P.15、16ページ)
`REPEAT S`ではプログラムに関係なく、演奏中の曲の一曲リピートになります。

リピートモードの切り換えについて

リピートキーを押すたびにリピート機能が切り換わります。



ご注意

- インデックスのリピート演奏はできません。
- ディスクトレイを開けたり、電源スイッチを切りますとリピート演奏は解除されます。

タイマー演奏

オーディオタイマー(別売)と組み合わせると、希望の時間に演奏を始めることができます。

- ①本機の電源プラグをアンプの連動コンセントに接続します。
- ②アンプの電源プラグをタイマーの連動コンセントに接続します。
- ③アンプおよび本機の電源スイッチを入れてコンパクトディスクをセットします。
- ④アンプの入力ソースを"CD"にセットし、音量を調整します。
- ⑤タイマーで演奏開始時間と終了時間をセットします。

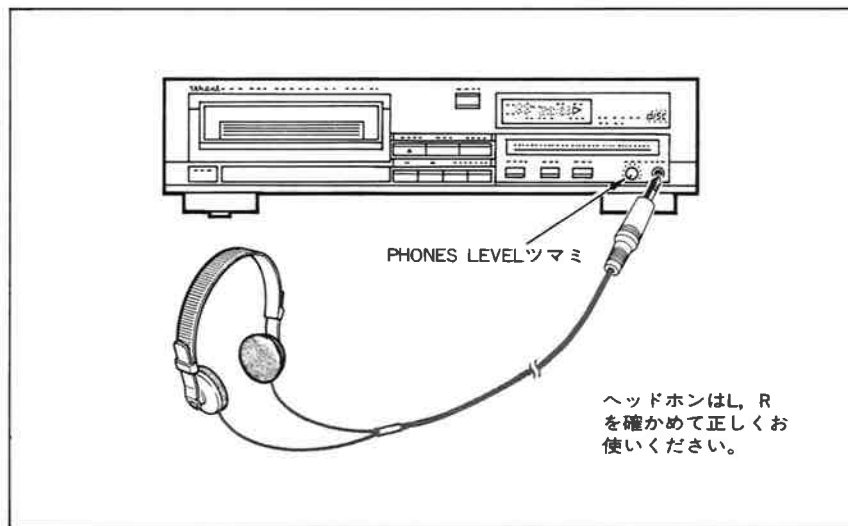
(このとき、各機器の電源が切れたことを確かめてください。)

※タイマーで時間をセットする方法は、タイマーの取扱説明書をご覧ください。
以上でタイマーにセットした時刻がくるとディスクの1曲目から自動的に演奏が始ります。

ヘッドホンについて

本機のPHONESジャックを利用すれば、ヘッドホン(別売)で演奏をお楽しみいただけます。

※ヘッドホンの音量は、PHONES LEVELツマミで調整できます。



故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電機音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのラベル面を上にして入れてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びがする	本機が震動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコン送信機では操作できない	乾電池が消耗している	受信シグナルが点灯しないときは、乾電池を2本とも交換してください
	送信機が受光部に向いていない	送信機を受光部に向けてキーを押してください

参考仕様

型式 コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム

■オーディオ特性

周波数特性	5Hz~20kHz \pm 0.5dB
高調波歪率+雑音	0.004%以下(1kHz, EIAJ)
チャンネル・セパレーション	85dB以上(1kHz)
SN比	100dB(EIAJ)
ダイナミックレンジ	95dB以上(EIAJ)
出力電圧/出力インピーダンス	2Vrms/2k Ω
ヘッドホン出力電圧(8 Ω)	最大150mV

■方式

光ピックアップ	3ビームレーザー
エラー訂正方式	CIRC、2重エラー訂正方式
D/A変換	16ビットリニア
フィルター	デジタルフィルター+3次アクティブフィルター
ディスプレイ	蛍光表示管

■機能

頭出し	“+”“−”キーによる順次選曲
インデックスサーチ	“◀”“▶”キーにて指定
音出しサーチ	“◀”“▶”キーによるサーチ2段階スピード自動切換
プログラム機能	16曲ランダム
リピート	1曲、全曲、プログラムリピート

■総合

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	10W
外形寸法	435×107×346.8mm
重量	4.2kg
付属品	出力コード 電源コード リモコンユニット(RS-CD5) 乾電池(単3 SUM-3)×2

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(0222)36-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(0252)43-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 日本楽器宮竹工場内北側 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 ステレオ北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F ステレオ仙台営業所 TEL(0222)23-1376
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F ステレオ首都圏営業所 TEL(03)255-5691 ステレオ神田営業所 TEL(03)255-6767 ステレオ北関東営業所 TEL(03)255-1825 ステレオ東京営業所 TEL(03)255-2302
名古屋	〒464 名古屋市中区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 ステレオ名古屋営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 ステレオ関西営業所 TEL(06)647-6411 ステレオ大阪営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内 ステレオ中四国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 ステレオ九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 ステレオ事業部 国内営業部 TEL(0534)60-3421

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

ステレオ事業部国内営業部 TEL.(0534)60-3421

管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。